

# 核兵器廃絶に向けて意義大きい

## 星野市長－オバマ演説について井之川議員の質問に答える

6月4日に開催された沼田市議会一般質問で井之川博幸議員は、「核兵器のない世界」を国家目標として初めて掲げた、アメリカのオバマ大統領のプラハでの演説に対する見解を市長に質しました。

星野市長は、「画期的なものであり、各方面からも高い評価を受けているものと認識しており、特に、核廃絶に向けた具体的な道筋として、『核軍縮』、『核不拡散体制の強化』、『核テロ防止』など、国際的な制度強化を主導する考えを打ち出したことは、核廃絶の実現に向けた大きな一歩であり、その意義は大きい」と答えました。



原水爆禁止国民平和大行進

### この好機に非核平和施策の拡充を

井之川議員は、核兵器廃絶に歴史的な好機といわれる条件が広がりつつあるとき、「核兵器廃絶平和都市宣言」をしている本市においても、いっそうの平和施策の拡充の必要性について質しました。

市長は、「これまで行なってきた非核平和に関する諸事業を継続して実施していくとともに、日本非核宣言自治体協議会及び平和市長会議が行なう諸事業に協力し、全国及び世界各国の加盟都市とともに連携し、核のない恒久平和の実現に寄与してまいりたい」と前向きな姿勢を示しました。

井之川議員はさらに、非核平和施策拡充のため、日本非核宣言自治体協議会の職員研修に、本市職員の派遣を要望しました。

市長は、「状況に応じて検討していく」と答えました。  
(一般質問報告は次号に続く)

### ご活躍を期待します！人権擁護委員のみなさん

6月議会で推薦され、承認されました。

入澤省二さん、小林治美さん、田島亮さん、角田世司さん

# 日本共産党以外は討論無し！

## 多数派…黙って反対・黙って賛成

6月議会最終日(11日)に行なわれた請願と議員定数削減条例の採決にあたって、日本共産党は討論を行い意見を述べましたが、多数派は誰も討論を行わず、「物価に見合う年金引き上げを政府に求める請願」については、委員長報告は「不採択」でしたが、多数派は意見を述べず請願に「反対」し、定数削減条例については、黙って「賛成」しました。

## 議員定数22人に…日本共産党は反対

11日の本会議で市議会議員定数を27人から22人に削減する定数条例の一部改正条例が議員提案され、日本共産党と一部保守系議員が反対しましたが、賛成多数で可決されました。定数22人は次回選挙から該当します。

日本共産党は、厳しい社会情勢のなかで市民の行政に対する意見・要望はいっそう増大するとして、市民と市政をつなぐパイプをこれ以上細くすることは市民の願いに逆行することであり、議会の活性化というなら議会で活発な議論を行い、市民の負託にしっかり応えることこそ、今求められているとして、反対しました。

## 自分たちでやらなきゃいけないけど…共産党に申し訳ない

奈良町に「乗合タクシー存続署名」で訪ねた北部支部の党員に、住民の人が「自分たちで(存続運動を)やらなきゃいけないけど(一生懸命取り組んでいる)共産党の人に申し訳ない」と語り、お茶やお茶菓子をごちそうしてくれました。

乗合タクシー



宇楚井・原線の乗合タクシー

2009年6月21日 No.480

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料